

人権学習展開例（第2学年）



主題名

私の気持ち

教材名

自こしょうかい すごろく

人権学習の視点

普遍的な視点「コミュニケーション能力」

主題・教材について


子どもたちの中には、友達同士で自分の考えを出しにくい児童もいる。そこで、すごろくゲームを通して身近な話題について自分の考えを語ったり、友達の意見をしっかりと聞き、そのことに関する自分の考えを話したりする中で、コミュニケーション能力を育てたい。



ねらい

自分のことを紹介したり、友達の意見を聞いて自分の考えを話したりすることを通して、コミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けさせる。

本時の展開

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具	
導入	○教師が簡単な自己紹介をし、本時の学習課題を知らせる。	一斉	○教師の自己紹介を聞き、簡単な感想を発表しながら、本時の学習課題を知る。	○子どもが感想を気軽に発表することができるような雰囲気です。		
	「自こしょうかい すごろく」をやってみよう					
展開	○「自こしょうかい すごろく」のルールを説明する。 ○「自こしょうかい すごろく」をさせる。	一斉 グループ	○「自こしょうかい すごろく」のルールを知る。 ○「自こしょうかい すごろく」をする。	○友達の意見を聞き、それに対する自分の感想や意見を自由に話すように伝える。 ○机間指導の中で教師自身の意見を言い、自由に話せる雰囲気を作る。	資料 「自こしょうかい すごろく」 さいころ こま	
	友達は、なんと言っただろう					
	○いったん中断させ、共通の質問をし、友達の発表が何だったのかを尋ねる。	一斉	○教師の質問に対して、友達がどう言ったのかを思い起こして発表する。	○全グループが通過した質問内容を選ぶ。		
もっと自分のことを話してみよう						
	○再び「自こしょうかい すごろく」をする。	グループ	○「自こしょうかい すごろく」をする。	○自分の考えをもっと話していくように言葉かけをする。		
まとめ	○感想を発表させる。 ○日常生活の中で、誰とも仲良く話ができるよう、本時の学習のまとめを行う。	一斉	○感想を発表し合う。 ○教師のまとめを聞く。	○お互いの考えを大切にすることに気付かせる。		

評価

自分のことを紹介したり、友達の意見を聞いて自分の考えを話したりすることを通して、コミュニケーションを図ろうとする態度が身に付いたか。

